

## 土木工事標準単価コードにおける設計単価（TDT コード）の端数処理方法について

表-1 の土木工事標準単価コード（SDT コード）に計上される設計単価（TDT コード）は円止め（円未満切り捨て）となります。

表-1

コード	名 称
SDT00001	区画線設置(溶融式)
SDT00003	区画線設置(ペイント式)
SDT00009	高視認性区画線設置
SDT00013	U型側溝
SDT00015	自由勾配側溝
SDT00017	蓋版
SDT00019	再利用撤去
SDTY0001	排水構造物工（グレーチング）
SDT00023	新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装_下塗り
SDT00025	新橋現場塗装_中塗り・上塗り
SDT00027	新橋継手部現場塗装_中塗り・上塗り
SDT00029	塗替塗装
SDT00031	構造物とりこわし工（無筋構造物）※機械施工
SDT00033	構造物とりこわし工（鉄筋構造物）※機械施工
SDT00035	コンクリートブロック積工

（例 1-1）SDT00001：区画線設置(溶融式)

- ・条件：排水性舗装に施工する場合、未供用区間に施工する場合
- ・設計単価（TDT コード）＝土木工事標準単価×（K1×K2）  
 $= 123.4 \times (1.05 \times 0.91) = 117.9087 \Rightarrow 117 \text{ 円（円未満切り捨て）}$

（例 1-2）・SDT00001：区画線設置(溶融式)

- ・条件：排水性舗装に施工しない場合、未供用区間に施工しない場合
- ・設計単価（TDT コード）＝土木工事標準単価×（K1×K2）  
 $= 123.4 \times (1.00 \times 1.00) = 123.4 \Rightarrow 123 \text{ 円（円未満切り捨て）}$

表-2 の土木工事標準単価コード（SDT コード）に計上される設計単価（TDT コード）は端数処理しません。

表-2

コード	名 称
SDT00005	区画線消去(削取り式)
SDT00007	区画線消去(ウォータージェット式)
SDT00011	高視認性区画線消去(削取り式)
SDT00021	新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装_素地調整
SDT00031	構造物とりこわし工（無筋構造物）※人力施工
SDT00033	構造物とりこわし工（鉄筋構造物）※人力施工

（例 2）・SDT00005：区画線消去(削取り式)

- ・設計単価（TDT コード）＝土木工事標準単価  
 $= 567.8 \Rightarrow 567.8 \text{ 円（端数処理しない）}$